取付説明書

洗面化粧台 オフト・D7シリーズ

●洗面化粧台　扉タイプ:FTV1N- 500(N)、503(N)、504(N)、600(N)、603(N)、604(N)、605SY(N)、605SY(N)-W、750(N)、753(N)、754(N)、755SY(N)、755SY(N)-W
D7N5- 500(N)、504(N)、604(N)、605SY(N)-W、754(N)、755SY(N)-W
引出タイプ:FTV1H- 754(N)、755SY(N)、755SY(N)-W
D7H5-755SY(N)-W
●ミドルキャビネット:FTVK-153、252、302
●サイドベースキャビネット:FTVB-154H、254H、304H
●アッパーキャビネット:FTVU-154CL(R)、254L(R)、304L(R)、604、654、754

お客さまへ

●掲載している取付説明は、専門知識を有する取付業者さま向けの内容です。
●商品の取付時には危険が伴いますので、取付けは専門知識を有する取付業者にご依頼ください。
※取付業者さま以外による取付け・修理・分解に起因する不具合は、商品保証の免責事項です。

取付業者さまへ

●取付けの際は、必ずこの説明書に沿って正しく取り付けてください。
※説明書に記載されていない方法で取り付けられ、それが原因で故障を生じた場合は、商品保証の対象外となりますので十分ご注意ください。
※水栓金具、電気温水器については、それぞれに同梱の説明書に沿って正しく取り付けてください。
●同梱の取扱説明書は取付完了後、必ずお客さまにお渡しください。
※保証書（取扱説明書裏表紙裏面）に貴店名、取付日を忘れずにご記入ください。

安全のために必ずお守りください

ここでは取付けに際して、守らなければ人身事故や家財の損害に結び付く注意事項を挙げています。作業前にこの項目をよくお読みいただき、正しく取り付けてください。

●用語および記号の説明

⚠警告	取付けを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。
⚠注意	取付けを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは、物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。
⃠	「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）
	「分解してはいけません！」
❗	「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠警告

●電気工事・水道工事は、関連する法令・規定に従って必ず「有資格者」が行う。
※火災、感電、水漏れの原因になることがあります。

●修理技術者以外の人は絶対に分解や修理・改造を行わない。
※ケガや故障の原因になります。

⚠注意

●スライド蝶番の調節後は必ずAねじ、Cねじ、取付ねじが固く締め付けられていることを確認する。
※緩んでいると、蝶番が外れて扉が落下し、ケガをする恐れがあります。

●湯水を逆に配管しない。

●電源プラグを抜くときはコード部分を持って引っ張らない。必ず先端のプラグ部分を持って引き抜く。
※感電やショート・発火による火災の恐れがあります。

●浴室内などの高温多湿な場所や水に浸る可能性がある床面には設置しない。
※木部の膨れや変形、漏電・感電の恐れがあります。

お願い

●直射日光やスポット照明、殺菌灯が直接当たる場所に放置しない。
※変色や変形の原因になります。

●不陸が５mm/２mを超える場合は必ず壁を施工し直す。
※不陸があるまま取り付けると、キャビネットがひずむ恐れがあります。

お願い

●洗面器表面は傷つきやすいので注意して作業する。
・上に乗らない。
・キャビネットや工具などの固い物を上に落としたり、載せて引きずったりしない。
※キズが付くと補修しても完全に元の状態には戻りません。

●洗面化粧台の木製部分に、養生テープなどの粘着物を付着させない。
※表面材の剥がれを引き起こす原因になります。

●酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコールなどの溶剤や油類を使用して本体を拭かない。
※変色や変形の恐れがあります。

●壁面工事や建築仕上げ工事に使われる溶剤・接着剤・洗剤・テープ類・その他の薬品類は、容器などに記載の注意事項に従う。
※人体への悪影響や使用部材の劣化、破損の原因になります。

●給水・給湯管および排水管が所定の位置に取り出していない場合は、必ず取り出し直す。
※取出し位置がずれたまま接続すると漏水の原因になります。

付属部品

●付属部品の内容と数量が合っていることを確認してください。

■化粧台

品　番	FTV1N-503(N) FTV1N-603(N) FTV1N-753(N)	FTV1N-500(N) FTV1N-600(N) FTV1N-750(N)	FTV1N-504(N) FTV1N-604(N) FTV1N-754(N) FTV1H-754(N)	FTV1N-605SY(N) FTV1N-755SY(N) FTV1H-755SY(N)	FTV1N-605SY(N)-W FTV1N-755SY(N)-W FTV1H-755SY(N)-W	D7N5-500(N)	D7N5-504(N)	D7N5-604(N) D7H5-754(N)	D7N5-605SY(N)-W D7N5-755SY(N)-W D7H5-755SY(N)-W
水栓金具	1セット								
鎖付きゴム栓(ギボシ付)	1セット	—		1セット	—				
洗面器キャップ	1個	—							
プッシュワンウェイセット	—				1セット	—			1セット
横引管	—				1個	—			1個
ヘアキャッチャー	1個				—	1個			—
ホースガイド	—			1個		—			1個
水受けトレイ	—			1個		—			1個
固定ねじ(トラスφ4.0×50mm)	2本								
床壁兼用排水トラップ(直管タイプ)	1個							—	1個
排水アダプター	1個							—	1個
排水プレート	1個							1個	1個
臭気止めパッキン	—							1個	—
床用排水トラップ(ジャバラタイプ)	—							1個	—
取付説明書･取扱説明書	各1部								
取っ手	500タイプ　1個　引出タイプ　3個　扉タイプ　2個								
取っ手取付用ねじ(低頭φ4 0×24mm)	500タイプ　2本　引出タイプ　6本　扉タイプ　4本								

■アッパーキャビネット

品　番	FTVU-154CL(R)	FTVU-254L(R) FTVU-304L(R)	FTVU-604	FTVU-654 FTVU-754
固定ねじ(ワッシャー付なべφ4.5×60mm)	4本			
キャビネット連結用ねじ(トラスφ4.0×30mm)	2本		—	
取っ手	—	1個	2個	
取っ手取付用ねじ(低頭φ4.0×24mm)	—	2本	4本	

■サイドベースキャビネット

品　番	FTVB-154H	FTVB-254H	FTVB-304H
固定ねじ(トラスφ4.0×50mm)	2本		
キャビネット連結用ねじ(トラスφ4.0×25mm)	2本		
取っ手	2個		
取っ手取付用ねじ(低頭φ4.0×24mm)	4本		

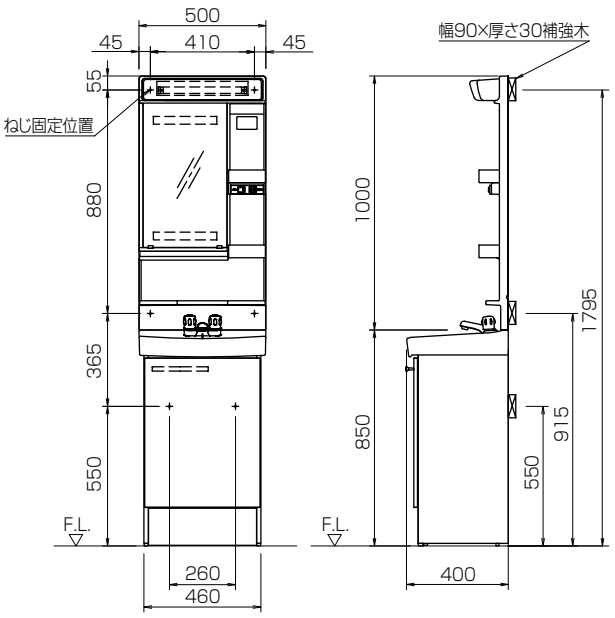
■ミドルキャビネット

品　番	FTVK-153	FTVK-252 FTVK-302
棚板	—	1枚
棚ダボ	—	4個
固定ねじ	4本 (皿φ4.5×60mm) 化粧用キャップ、 ワッシャー各4個)	4本 (ワッシャー付なべ φ4.5×60mm)
取っ手	—	1個
取っ手取付用ねじ (低頭φ4.0×24mm)	—	2本
落下防止バー	2本	—
落下防止バー取付用ねじ (皿φ3.0×20mm)	4本	—

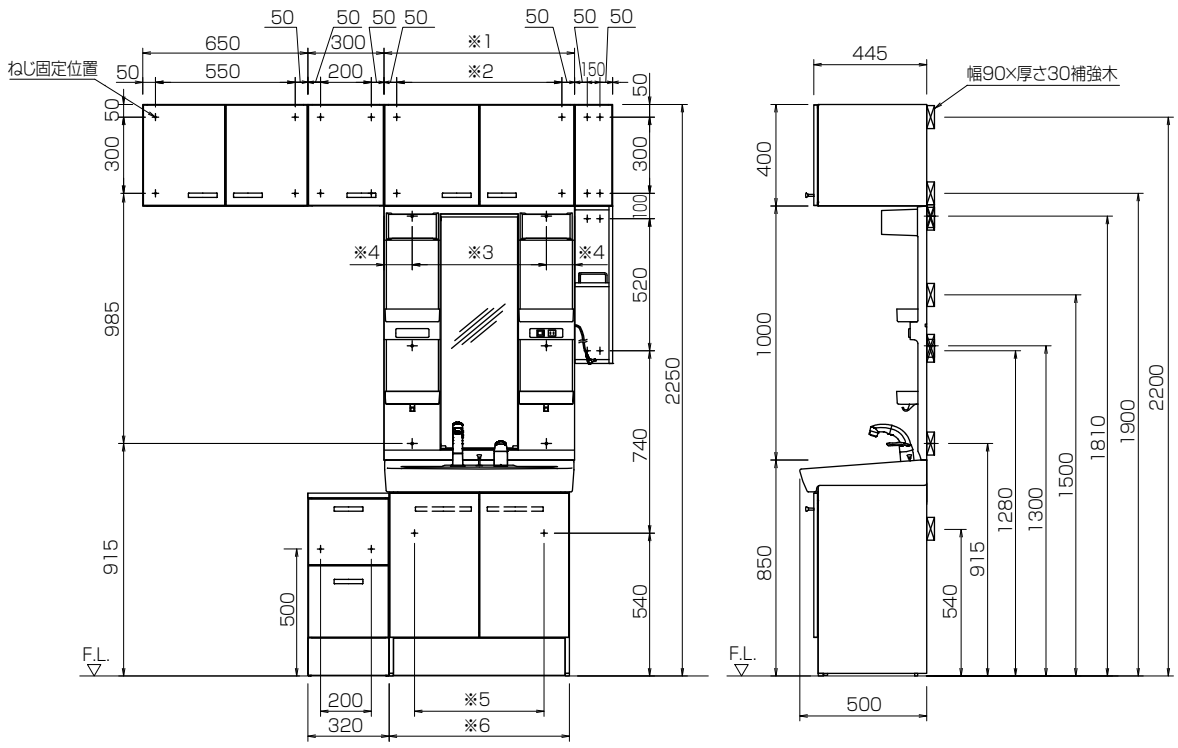
寸法図

（単位：mm）

●間口500mm



●間口600･750mm



▲上記図面仕様寸法

	※1	※2	※3	※4	※5	※6
間口600	600	500	490	55	360	560
間口750	750	650	640	55	510	710

取付前の確認

電気温水器･即湯システムについては、それぞれ付属の取付説明書をご覧ください。

□給水･給湯の確認

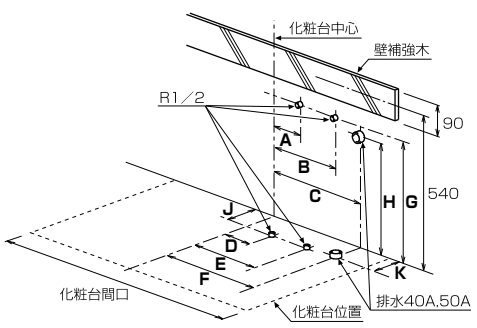
給水･給湯の条件、水栓金具の設置条件は別紙説明書(水栓金具に付属)をご覧ください。

□配管工事の確認

給水･給湯管および排水管が所定の位置に指定の給排水管仕様で取り出してあるか確認してください。

⚠ 注意

湯水を逆に配管しない。



〈標準〉

	ゴム栓式			プッシュワンウェイ式	
間口(mm)	500	600	750	600	750
A	50	50	50	50	50
B	140	140	140	140	140
C	0	0	0	0	右に270
D	50	50	50	50	50
E	140	140	140	140	140
F	0	0	0	0	右に270
G	420	420	420	420	420
H	490	440	440	400	400
J	100	100	100	100	100
K	140	140	140	140	140

〈電気温水器〉

	ゴム栓式				
間口(mm)	500	600		750	
水栓タイプ	洗面	洗面	洗髪	洗面	洗髪
A	—	—	—	—	—
B	140	140	140	140	140
C	×	×	×	×	×
D	—	—	—	—	—
E	140	140	140	140	140
F	右に70	右に70	右に70	右に70	右に70
G	420	300	360	300	360
H	×	×	×	×	×
J	100	100	100	100	100
K	140	140	140	140	140

	プッシュワンウェイ式	
間口(mm)	600	750
A	—	—
B	140	140
C	×	×
D	—	—
E	140	140
F	右に70	右に270
G	360	360
H	×	×
J	100	100
K	140	140

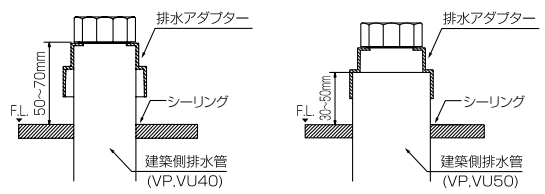
※表中"—"印:給湯管の配管は不要です。
※表中"×"印:壁排水には対応できません。

〈ほっとエクスプレス〉

	ゴム栓式			プッシュワンウェイ式	
間口(mm)	500	600	750	600	750
A	50	50	50	50	50
B	140	140	140	140	140
C	×	×	×	×	×
D	50	50	50	50	50
E	140	140	140	140	140
F	0	0	0	0	右に270
G	420	420	420	420	420
H	×	×	×	×	×
J	100	100	100	100	100
K	140	140	140	140	140

●床排水は下図のとおり取り出してください。
※壁排水の場合は市販の排水アダプターをご使用ください。

VP-VU40の場合　　VP-VU50の場合



※建築側排水管と開口部に隙間がある場合は、シリコンでシーリングしてください。

⚠ 注意

建築側排水（VP･VU管）は必ず指定の取出寸法範囲内で取り出す。

※取出寸法が短いと、排水トラップと接続できず、漏水を引き起こす恐れがあります。

□床面の確認

●設置する床は水平で、著しい凹凸や不陸がないこと。
●床面は強固で、ガタツキ、たわみが生じないこと。
※キャビネットがガタついたり、取付精度（納まり）が悪くなる恐れがあります。

□壁面工事の確認

⚠ 警告

下記事項が守られていることを事前に確認し、取付けを行う。

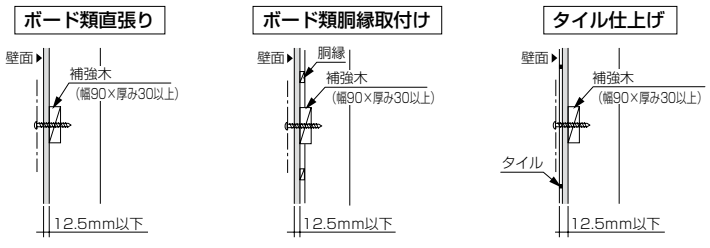
※守られていないと取付強度が保てず、キャビネットが落下してケガをする恐れがあります。

●下記「キャビネットを取付可能な壁面」の条件を満たさない壁には取り付けない。
※記載の条件を満たさない場合は、壁を施工し直してください。
※壁の不陸が 5mm ／ 2m を超える場合は、必ず壁を施工し直してください。
●壁固定は指定のねじを、指定本数使用する。

キャビネットを取付可能な壁面

〔乾式壁の場合〕

●「ねじ固定位置」には必ず補強木(幅90mm x 厚み30mm以上)を設ける。
●補強木は必ず柱・間柱・縦桟木など建築躯体に固定する。
※補強木の固定は、キャビネットの固定強度と同等以上になるよう、種類・数を選定してください。
●壁固定ねじを補強木に届かせるため、壁仕上げの総厚さは12.5mm以下にする。



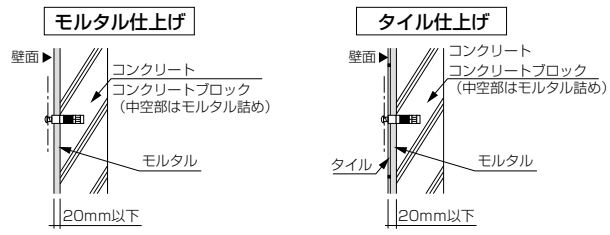
【壁面に補強木が取り付けられない場合】
●取付壁全面に厚み12mm以上のJAS規格品合板を強固に取り付ける。
[建築工事]

〔湿式壁の場合〕

●壁固定ねじに合ったAYボルトを使用する。
●AYボルトを壁本体に届かせるための、壁仕上げの総厚さは20mm以下にする。

〈取付方法〉

①AYボルトの位置を確認し、位置出しをする。
②壁にφ7.5mmの下穴をあけ、切粉をよく取り除く。
※下穴は電動ドリルを使用し正確にあけてください。
③AYボルトを挿入してゴム筒を押さえてボルトを抜き取る。
④キャビネットを壁面に当て、ねじ穴からボルトで固定する。



(別途手配)

品　種	AYボルト	個数
ベースキャビネット	※KB-4X60T(AY)	1個
サイドベースキャビネット	※KB-4X60T(AY)	1個
アッパーキャビネット	※KB-4X60WT(AY)	2個
ランドリーキャビネット	※KB-4X60SC(AY)	2個

お願い
洗面器と金具が接触すると、スジ状の線がつきます。万一スジ状の線がついた場合には#1200以上の耐水ペーパーやけんま剤入りの洗剤などで軽くこすって除去してください。

お願い
排水口に貼られているシールは、もらいサビを防止するためのシールです。絶対にはがさないでください。
※排水口にもらいサビが生じる恐れがあります。

【コンクリートブロック壁の場合】
●ブロック中空部はモルタル詰めする。

取付方法

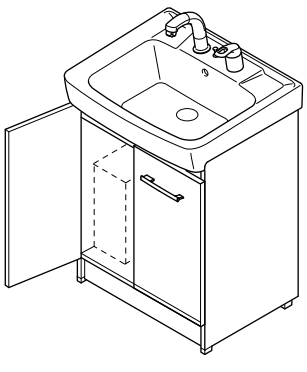
《 化粧台の取付け 》

お願い
キャビネットの扉は表面にキズが付きやすいため、取扱いには十分注意してください。

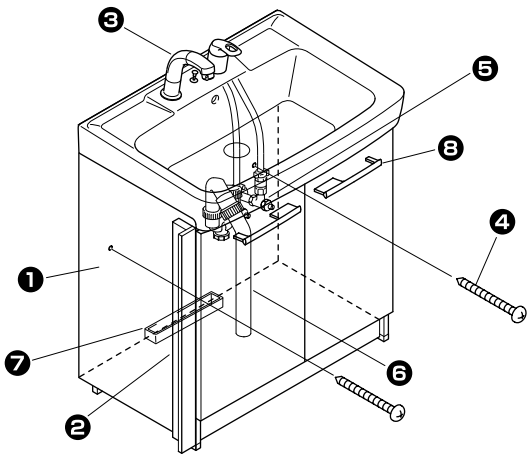
●キャビネットを壁に固定する際、扉が邪魔になるときは、扉を外して作業することもできます。
※キャビネットの扉の着脱方法は、後述の「扉の取付方法」「扉の取外し方法」をご覧ください。扉を外した場合は、必ず扉を取り付けてください。
●水栓金具・鎖付きゴム栓はキャビネットを壁に固定する前に洗面器に取り付けておくと、取付作業が行いやすくなります。

下記部材を取り付ける場合は、化粧台を壁固定する前に各部材付属の施工説明書をご覧ください。

●電気温水器を取り付ける



《化粧台各部取付けの流れ》



❶ ベースキャビネットの下準備

❷ サイドフィラーの取付け
※オプション品です。プラン上、サイドフィラーがある場合

❸ 水栓金具の取付け

❹ 洗面化粧台の取付け

❺ 止水栓の取付け

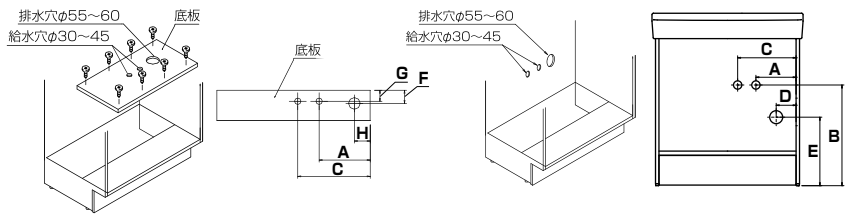
❻ 排水トラップの取付け

❼ 水受けトレイの取付け

❽ 取っ手の取付け

❶ ベースキャビネットの下準備

〔床給水の場合〕　〔壁給水の場合〕



	標準					ほっとエクスプレス				
	ゴム栓式			プッシュワンウェイ式		ゴム栓式			プッシュワンウェイ式	
間口(mm)	500	600	750	600	750	500	600	750	600	750
A	73	123	198	123	198	73	123	198	123	198
B	420					420				
C	163	213	288	213	288	163	213	288	213	288
D	213	263	338	263	68	—				
E	490	440		400		—				
F	126					126				
G	86					86				
H	213	263	338	263	68	213	263	338	263	68

	電気温水器						
	ゴム栓式					プッシュワンウェイ式	
間口(mm)	500(洗面)	600(洗面)	600(洗髪)	750(洗面)	750(洗髪)	600	750
A	73	123	123	198	198	123	198
B	420	300	360	300	360	360	360
C	—					—	
D	—					—	
E	—					—	
F	126					126	
G	86					86	
H	143	193	193	268	268	193	68

❷ サイドフィラーの取付け

サイドフィラー付属の取付説明書をご覧ください。

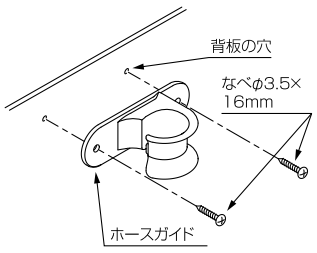
❸ 水栓金具の取付け

水栓金具の取付けは、水栓金具の施工説明書をご覧ください。
電気温水器が取り付くプランでは、給排水の取付方法が通常と異なります。
電気温水器の施工説明書を参照し、取付けを行ってください。

■水栓金具のシャワーホースの取付け

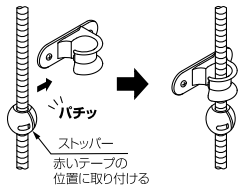
(SF-500SY(N)-MB15)

●キャビネット背板のガイド穴2ヶ所に付属のねじ(なべφ3.5×16mm　2本)でホースガイドを取り付ける。



●ホースガイド左側の切欠きに水栓金具のシャワーホースを押し当て、水栓金具のシャワーホースをホースガイドに通す。

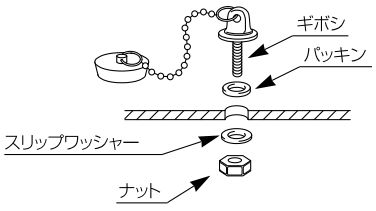
●水栓金具に付属されているストッパーは、ホースに貼ってあるテープの所に取り付ける。



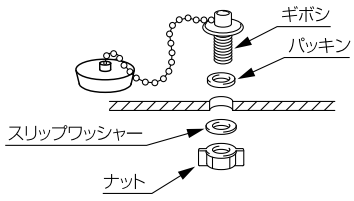
■鎖付きゴム栓の取付け

鎖付きゴム栓は水栓金具取付面に取り付ける。
ギボシ用穴にギボシを入れ、裏面からナットを手で締め付ける。

〔W500の場合〕

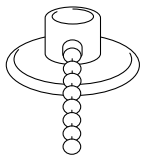


〔W600･W750の場合〕



⚠ 注意

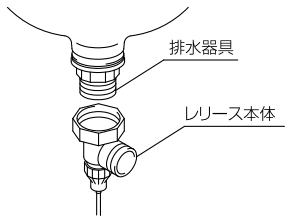
W600･W750の場合
鎖を正面の向きに合わせる。



工具を使わない！

■レリースの取付け
(FTV1N-***-W、FTV1H-***-W、D7N5-***-W、D7H5-***-Wの場合)

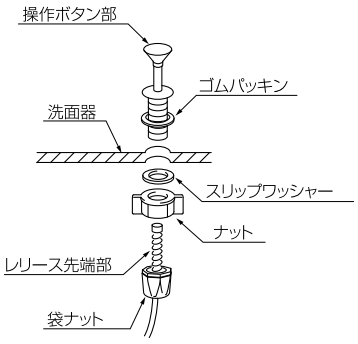
(1)レリース本体を洗面器の排水器具に取り付ける。



⚠ 注意

強く締めすぎない。
※排水口部分が破損し、漏水を引き起こす恐れがあります。

(2)操作ボタン部は、洗面器の取付穴に取り付ける。操作ボタン部を取り付けた後、ボタン部の筒内に、レリース先端部（スプリング装着部）を挿入させ、袋ナットで締め付ける。



(3)洗面器の排水口にヘアキャッチャーを取り付ける。

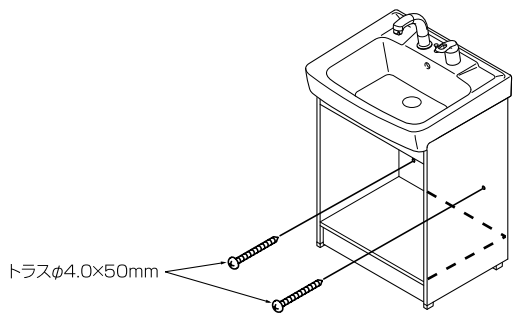
⚠ 注意

●ゴムパッキンとスリップワッシャーの取付位置を確認する。
※取付位置を誤った場合、漏水を引き起こす恐れがあります。

●ナット類は手でしっかりと締め付ける。
※締付けが不十分だと漏水を引き起こす恐れがあります。

❹ 洗面化粧台の取付け

キャビネット本体を指定の位置に設置する。
付属の固定ねじ（トラスφ4.0×50mm）で洗面化粧台を壁に固定する。



お願い

化粧台の水平が出ないと破損、ガタツキが発生する恐れがあります。水平が出ているか、十分に確認をしてください。
※複数のキャビネットを設置する場合は、壁面に接するキャビネットから順に設置してください。

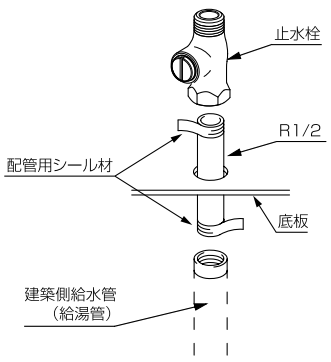
⚠ 注意

レリースワイヤーや水栓金具の給水･給湯ホースを化粧台と壁の間に挟まない。

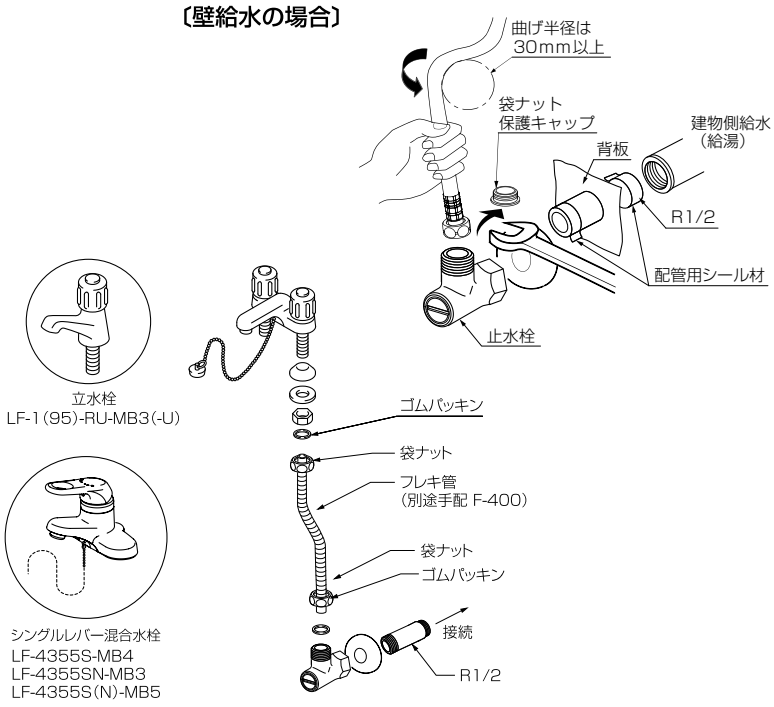
❺ 止水栓の取付け

止水栓はメンテナンス･流量調節に必要なため、必ず取り付ける。
※止水栓は別途手配です。

〔床給水の場合〕



〔壁給水の場合〕



フレキ管の取付け（フレキ管は別売品です）

フレキ管はゴムパッキンを介して取り付ける。
※シングルレバー洗髪シャワー水栓 (SF-500SY(N)-MB15) の場合はフレキ管を使いません。

⚠ 注意

●立水栓の場合は定流量弁ソケットを取り付ける。
※施工方法は付属のちらしをご覧ください。
※水がはねたり、水があふれたりする恐れがあります。

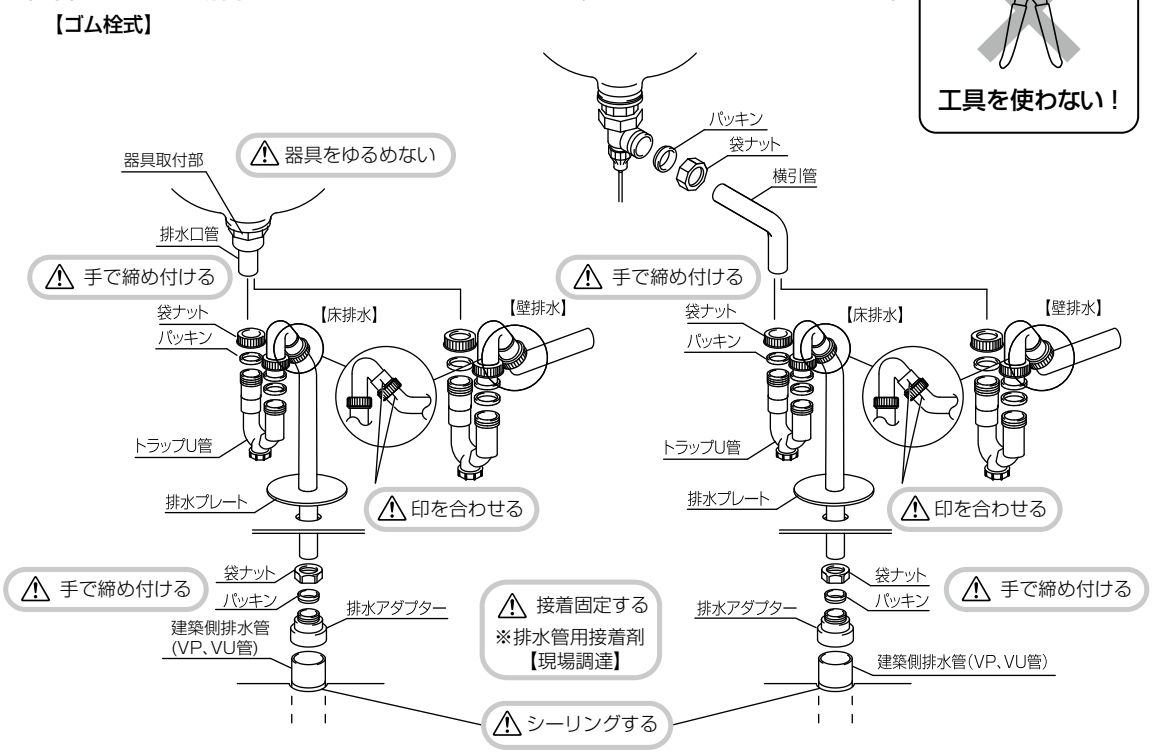
●後述の「取付後の確認」で流量を調節する。
※吐水に必要な流量が得られない場合があります。

❻ 排水トラップの取付け

洗面器下の排水器具の一部と排水トラップを図のように取り付ける。

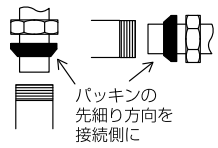
■直管トラップの場合　※オフトシリーズ、D7シリーズ（シングルレバー混合水栓仕様以外）

【ゴム栓式】

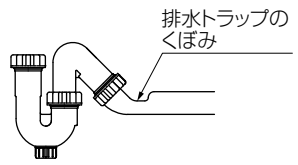


⚠ 注意

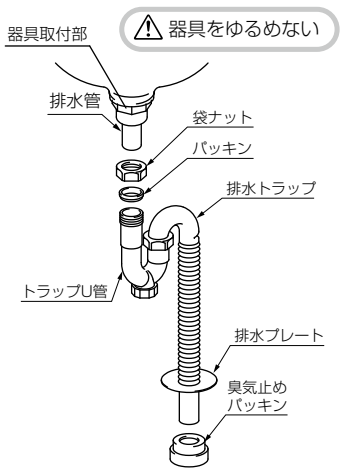
- **パッキンの向きに注意する。**
- **管は奥に当たるまで差し込む。**
- **壁排水時、排水トラップのくぼみを建築側の継手やアダプターと重ねない。**



- **接着に耐熱塩ビ用接着剤を使用しない。**
  ※漏水し、家財などを濡らす拡大損害発生の恐れがあります。
- **排水管に干渉するものがないか確認する。**
  ※干渉していると、接続部が外れ漏水を引き起こす恐れがあります。
- **排水トラップのナットの位置を化粧台の奥側に向ける。**
  ※収納物が配管に当たり漏水を引き起こす恐れがあります。
- **横引管が逆勾配にならないように取り付ける。**
  ※排水能力が悪くなります。
- **あらかじめ横引管に袋ナット、パッキンを通し、それからトラップU管を差込部の最後まで入れてください。**
- **排水トラップは建築側排水管に接続する際、長さに余裕がある場合でもカットしない。**
  ※材料収縮により漏水の原因となる恐れがあります。



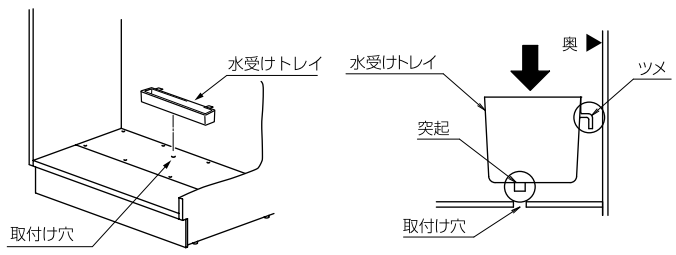
■ジャバラトラップの場合　※D7シリーズ　シングルレバー混合水栓仕様



臭気止めパッキンの接続部はシール材にてコーキングしてください。
※排水トラップを建築側排水管に接続する際は排水トラップを切らずに建築側排水管に十分挿入してください。

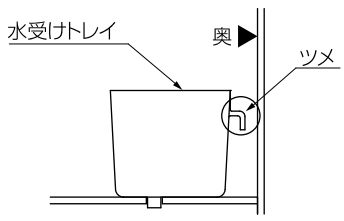
❼ 水受けトレイの取付け

水受けトレイをホースの下方に設置する。
キャビネット底板の取付け穴に水受けトレイの突起を差し込む。



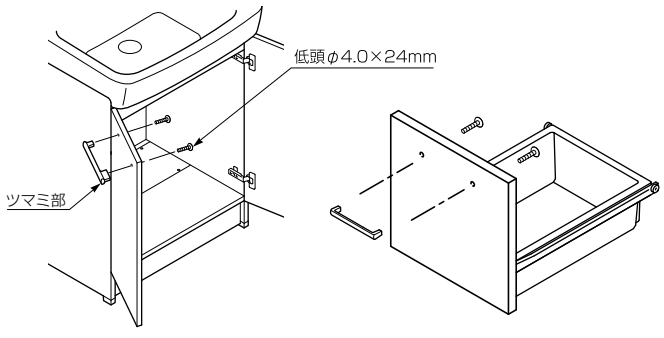
お願い

水受けトレイのツメを奥に向けて取り付けてください。



❽ 取っ手の取付け

取っ手取付用ねじ（低頭φ4.0×24mm）で図のように手回しプラスドライバーで取り付ける。
扉の取っ手はツマミ部分が吊元の反対側に来るように取り付けます。
詳しくは取っ手に付属のちらしをご覧ください。
※電動ドライバーは使用しないでください。



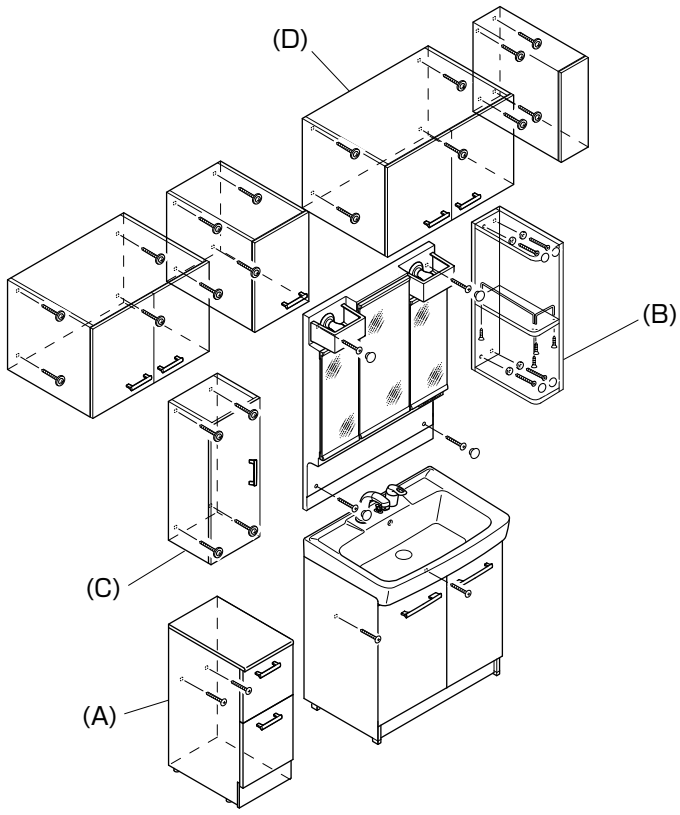
《 周辺キャビネットの取付け 》

⚠ 注意

キャビネットの取付位置は、周囲の可動物と扉が当たらないことを確認する。

※使用中、扉が当たり、破損・落下し、ケガをする恐れがあります。

■周辺キャビネットの種類



(A)サイドベースキャビネットの取付け

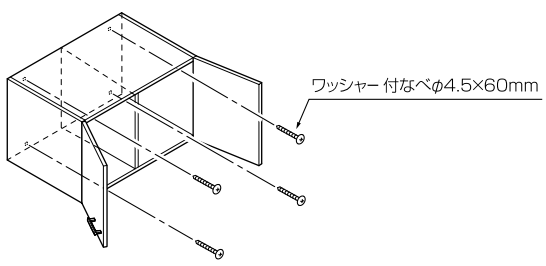
前板の前面を洗面化粧台の扉前面に合わせて設置し、キャビネットの内側より固定ねじ(トラスφ4.0×50mm)で壁に固定する。

※隣接するキャビネットと隙間が生じる場合は後述のキャビネットの連結をご確認ください。

(D)アッパーキャビネットの取付け

ミラーキャビネットまたはミドルキャビネットの上に設置し、キャビネットの内側より固定ねじ(ワッシャー付なべφ4.5×60mm)で壁に固定する。

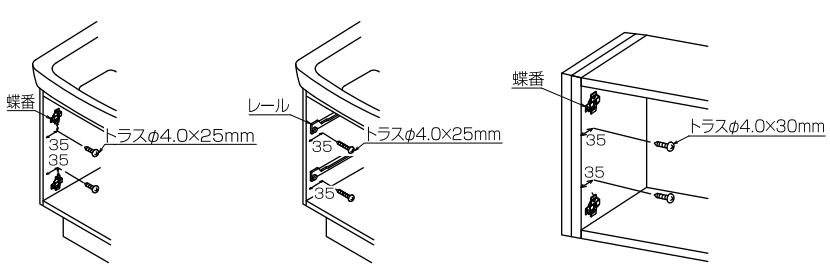
※隣接するキャビネットと隙間が生じる場合は後述のキャビネットの連結をご確認ください。



■キャビネットの連結

隣接するキャビネットと隙間が生じる場合は、図のようにキャビネット連結用ねじで固定する。

〔扉タイプの場合〕　〔引出タイプの場合〕　〔アッパーキャビネットの場合〕

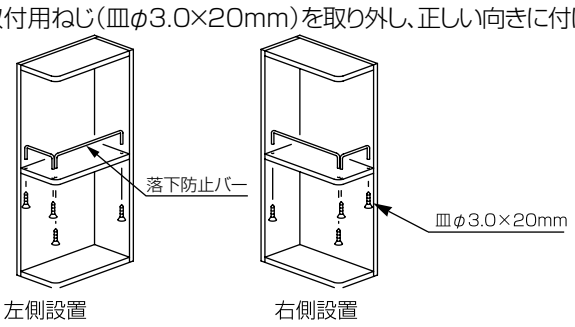


(B)ミドルキャビネット（FTVK-153）の取付け

※出荷時は化粧台の左側設置仕様です。

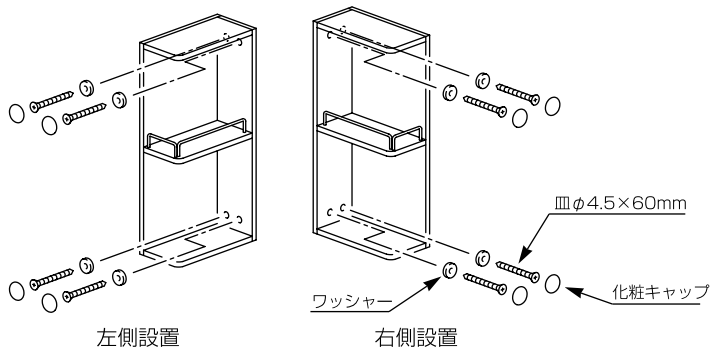
〔右側設置の場合〕

落下防止バー取付用ねじ(皿φ3.0×20mm)を取り外し、正しい向きに付け替える。



① 天面をミラーキャビネットの上端に合わせて設置し、キャビネットの内側より固定ねじ（皿φ4.5×60mm）で壁に固定する。

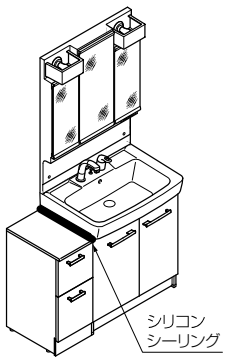
※ねじの上から化粧キャップをはめてください。



(C)ミドルキャビネット（FTVK-153以外）の取付け

天面をミラーキャビネットの上端に合わせて設置し、キャビネットの内側より固定ねじ（ワッシャー付なべφ4.5×60mm）で壁に固定する。

《 洗面器周囲のシール 》



●洗面器と壁あるいは隣接キャビネットとの合わせ部をシリコンでシーリングする。

⚠ 注意

必ずシーリングする。

※合わせ部から水が浸入しキャビネットや壁・床を傷める恐れがあります。

《 確認事項 》

■キャビネット本体の確認

○取付ねじが十分に締まっていること。

○ガタツキがないこと。

※ガタツキがある場合は、ねじ位置を変えて取り付け直してください。

○扉のチリがそろっていること。

※そろっていない場合は、後述の「扉の調節」で調節します。

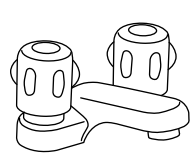
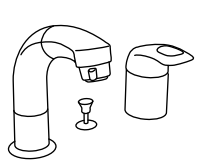
■吐水口の掃除

通水確認時に吐水口の掃除を実施してください。

※詳細は、水栓金具に同梱の施工説明書をご確認ください。

■吐水、排水量の確認

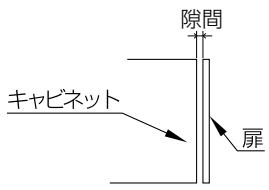
排水栓を閉じて満水にした洗面器へ吐水するときに、洗面器から水があふれないように水側、湯側の止水栓をマイナスドライバーで回して流量(L/分)を調節します。不用意に水栓金具のハンドルを全開にした場合の水の飛散を防止するために、水栓金具のハンドルを全開にして、水栓金具が各々の流量(L/分)になるように湯水の止水栓を調節してください。洗面器が満水になるまでの時間は下表の通りです。

	立水栓 5.0L/分	シングルレバー 混合水栓 8.0L/分	ツーハンドル 混合水栓 8.0L/分	シングルレバー 洗髪シャワー水栓 8.0L/分
間口				
500	約1分10秒	約45秒	約45秒	—
600	約2分10秒	約1分25秒	約1分25秒	約1分25秒
750	約3分00秒	約1分50秒	約1分50秒	約1分50秒

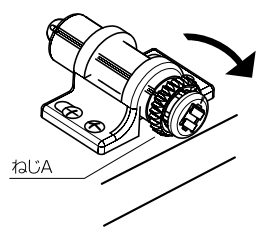
調節方法

≪ プッシュラッチの調節 ≫

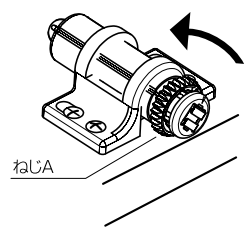
（1）扉と本体の隙間を確認する。
基準値：隙間2mm



●隙間が大きい場合
プッシュラッチのねじAを右に回します。

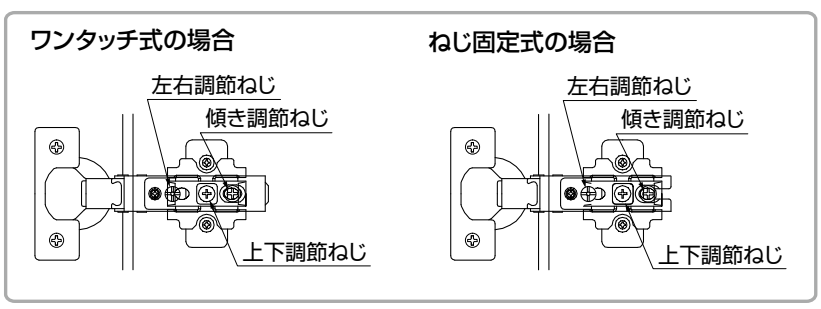


●隙間が小さい場合
プッシュラッチのねじAを左に回します。



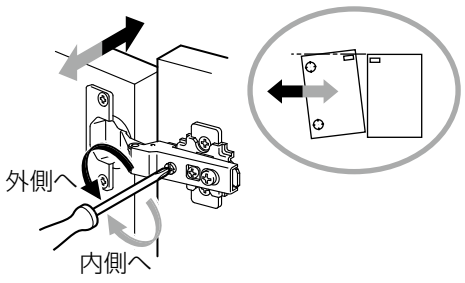
（2） 扉と開閉しているプッシュラッチが正しく動作するか確認する。

≪ 扉のチリ調節 ≫



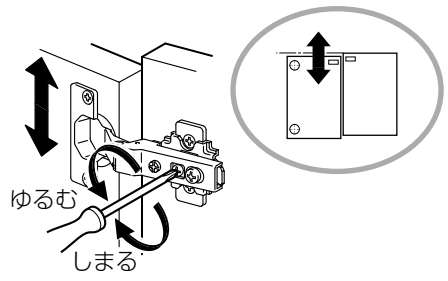
左右の調節（内側4mm、外側1mm）

左右調節ねじを回し、
扉を調節する。



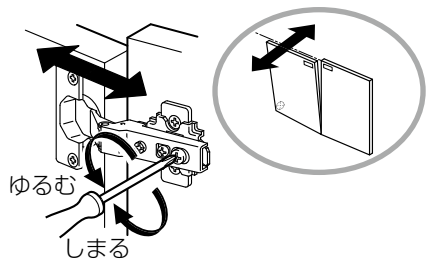
上下の調節（±1.5mm）

①上下調節ねじを軽く緩め、
扉を動かして 調節する。
②上下調節ねじを締め直す。



前後の傾き調節（前2mm、後1mm）

①傾き調節ねじを軽く緩め、
扉を動かして調節する。
②傾き調節ねじを締め直す。



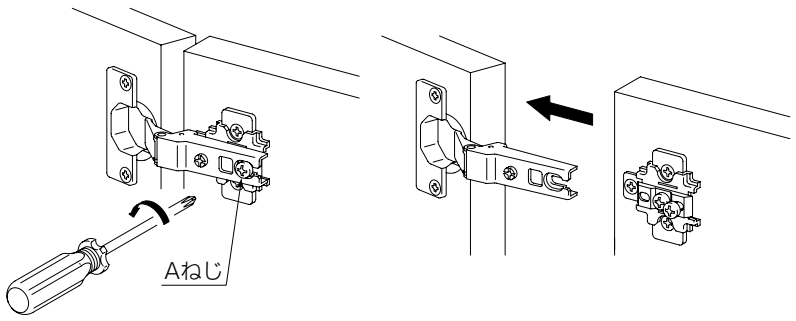
⚠ 注意

●調節ねじ以外のねじを緩めたり、外したりしない。
●調節後は、緩めたねじがしっかり締め付けられていることを確認する。
※扉が落下してケガをする恐れがあります。

《 扉の取外し方法 》

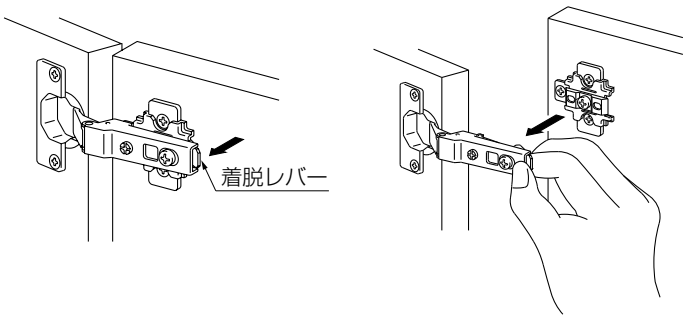
●ねじ固定式の場合

A ねじを手回しプラスドライバーでゆるめた後、扉を矢印の向きに引っ張って取り外す。



●ワンタッチ式の場合

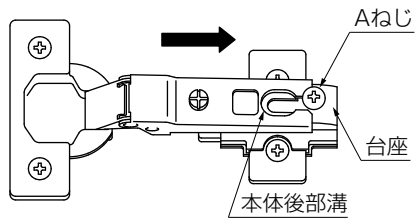
蝶番の着脱レバーを手前に引き、蝶番を矢印の向きに引っ張って取り外す。



《 扉の取付方法 》

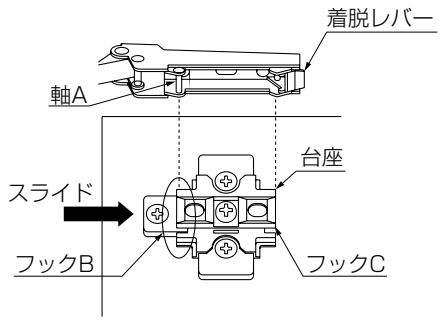
●ねじ固定式の場合

本体後部溝を台座固定ねじに差し込み、Aねじを締め付ける。

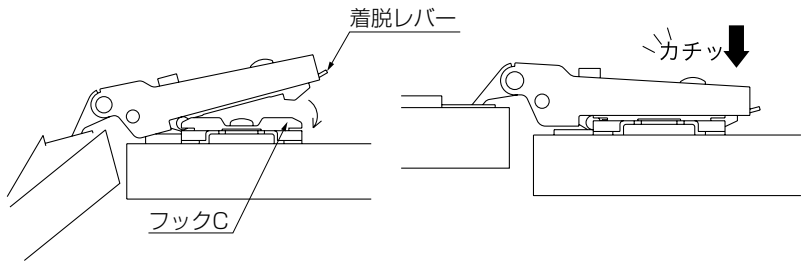


●ワンタッチ式の場合

①扉を矢印の向きにスライドさせて蝶番の軸 A をフック B に引っ掛ける。



②蝶番の着脱レバーをフックCに合わせ、蝶番を矢印の向きに「カチッ」と音がするまで押す。



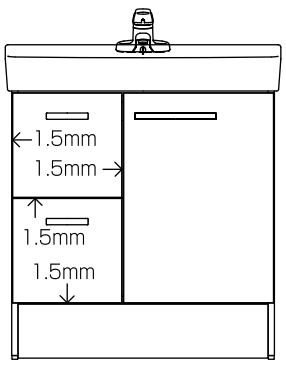
⚠ 注意

扉の取付後は、蝶番が台座へしっかりはまっていることを確認する。

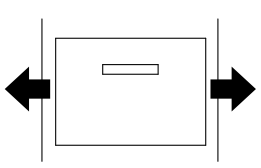
※扉の外れや落下によりケガをする恐れがあります。

《 引出しの調節 》

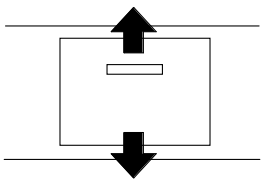
●固定ねじの調節方向と調節量



固定ねじを軽くゆるめて、引出し前板を少しずつ動かして調節する。



左右方向の調節範囲：±1.5mm



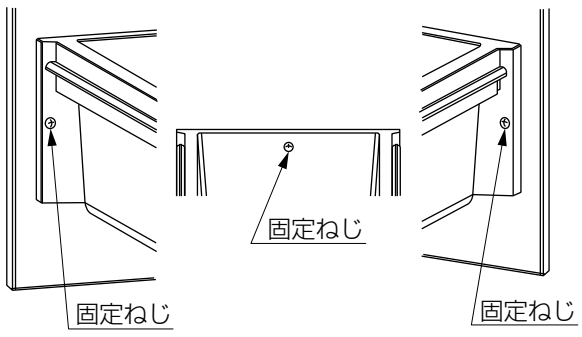
上下方向の調節範囲：±1.5mm

⚠ 注意

調節後は、必ず固定ねじが固く締まっていることを確認してください。

※ゆるんでいると、引出し前板が外れて落下し、ケガをする恐れがあります。

(1)引出しを取り外す。
(2)図の位置にある左右中央の固定ねじを手回しプラスドライバーでゆるめる。



(3)手回しプラスドライバーで固定ねじを締め付ける。
(4)引出しを取り付ける。
(5)正しい位置になるまで繰り返す。